



押忍! 我ら甲南健児、ここにあり!

甲南高等学校応援団



左から沖遼太郎さん(高三)、山本能重さん(高二)、西村匠翔さん(高二)

**歴史ある
甲南応援団である誇り**

団員は高校生のみ。現在、団長をはじめ、副団長、本部長らを中心とした11名で活動中です。体育祭や文化祭はもちろん、毎年行う灘中学校・高等学校との定期親善試合「灘甲戦」でも演舞を披露します。団員たちは長ランや鉢巻、腕章を身につけ、口上や三七拍子、七拍子を披露し、全校生徒にエールを送って士気を高めています。

団員は日々、これまでの歴史で引き継がれてきた口上や演舞の練習に取り組んでいます。昼休みの一部を活動時間に充てているため、運動部や文化部などさまざまなクラブに所属する生徒たちが入団しています。「部活の先輩が応援団に所属していて、一本筋の通った雰囲気、憧れた」と入団動機を語る冲さん。中学生で初めて見た応援団に憧れ、高校生になってすぐに入団する生徒も少なくありません。

**朝の挨拶活動で
全校生徒とつながる**

昨秋から週2回、正門で朝の挨拶活動を行っています。応援団として他の生徒たちから「応援してほしい」と思われる存在であるために、普段からもっとかわりを増やしていこうと始めました。

朝、鉢巻や学ランの応援団スタイルの団員たちが、登校してくる生徒たちへ大きな声で挨拶します。初めはめずらしそうに見られるだけのこともありましたが、「ずっと続けることで、周りの反応も好意的になってきた」と西村さん。今では多くの生徒が挨拶を返してくれるようになり、「気持ちのいい挨拶を交わすと、一日中気分が上がる」と山本さんもうれしそう。この良い流れを大切に続けていきたいと思っています。



元気な「おはようございます!」が聞こえる朝の挨拶活動。

新入生へ、歓迎の気持ちあふれて

自治会総務・中学生委員会の生徒たちによる歓迎セレモニー



廊下に掲示された行事の写真。一枚一枚見ていた新入生は「文化祭が楽しみ」と笑顔に。

**春休みの間に準備した
黒板アートと行事写真**

この春、甲南中学校178名、高等学校188名の新入生を迎えました。新中学1年生の歓迎に、中学生委員会の生徒たちが用意したのは、黒板アートと行事写真の展示。各教室の黒板に美術部員が浮世絵などを描いたあと、色鮮やかな紙のお花で飾り付けを。廊下には、水泳大会や体育祭などの行事写真を貼り出しました。

入学早々のサブライズに、新入生も写真を撮るなど、楽しんだ様子。「2日がかりの作業でしたが、喜んでもらえてよかった」と、委員会の鷗木さん。歓迎する側にもよい思い出になりました。

新入生歓迎会では 先輩として引率も

4月13日には自治会総務主催の新入生歓迎会を開催。クラスサンパル部の華やかな演奏のあと、各クラブからの挨拶や応援団の演舞が行われました。その後、新入生をグループに分け、クラブ見学へ引率。体験もできるので、みんな興味津々です。「先輩たちも優しく接してくれました」と、新入生もうれしかったようです。委員会メンバーも「引率は大変でしたが、楽しそうな様子を見るとやってよかった」「森脇さん、「全員が何かのクラブに参加してくれるとうれしい」(中村さん)と、後輩たちを温かく見守りました。



黒板アートや紙のお花で飾られた教室で、これから始まる学校生活について話を聞く新1年生たち。